

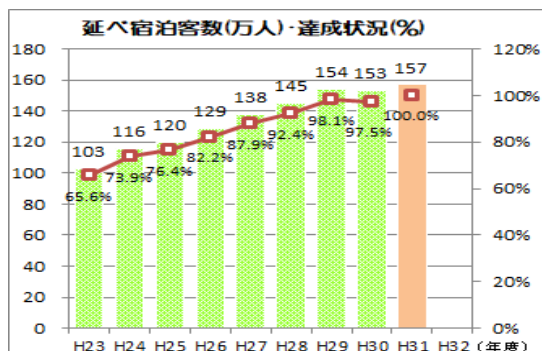
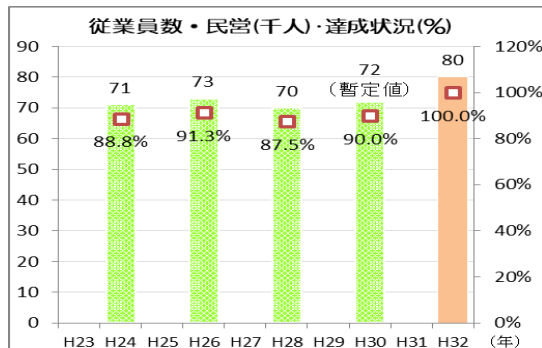
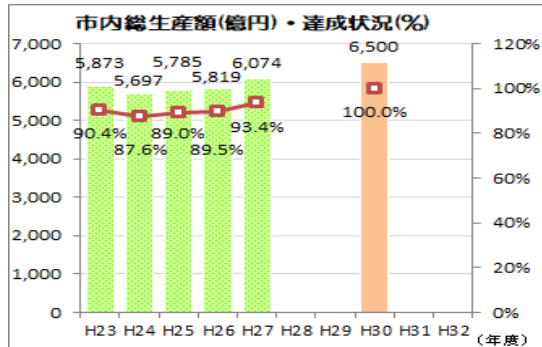
基本目標1 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

本市からの人口流出を抑制するためには、地域の産業基盤を強化し、地域経済を再生させ、安定した雇用の創出を図ることが重要です。このため、本市の地域資源を最大限に活かし、域内循環や外貨の獲得など産業のポテンシャルをこれまで以上に高め、地域経済のプラス成長を目指した施策を展開します。

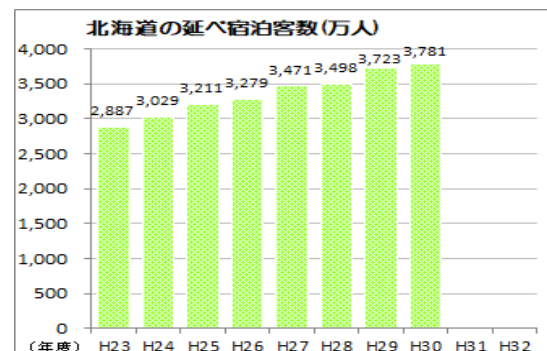
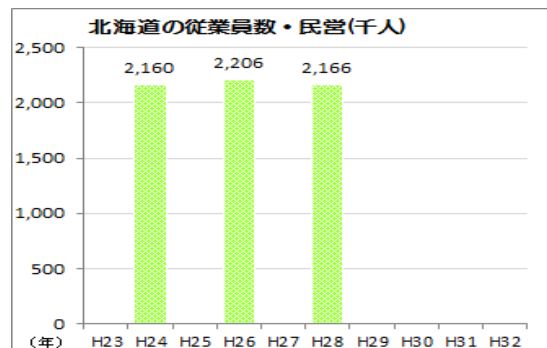
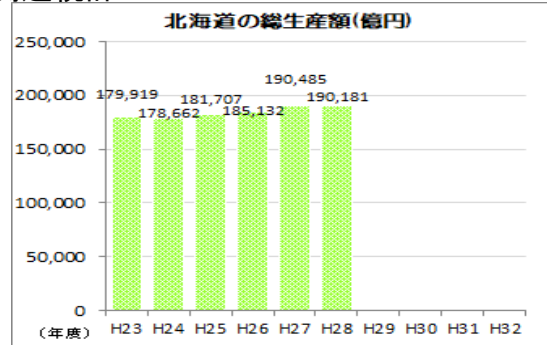
地域経済のプラス成長には、企業などの生産体制、技術向上や販路拡大などの地盤づくりが重要であることから、企業や事業者の自助努力による経営革新、創業、新陳代謝の促進及び国内外への事業展開の取組を促します。

また、地域経済の持続的発展のためには、多様な担い手を生み出すための環境整備が重要であることから、女性の更なる活躍促進や若年者など多様な人材の育成を図ります。

数値目標



関連統計



施策の体系

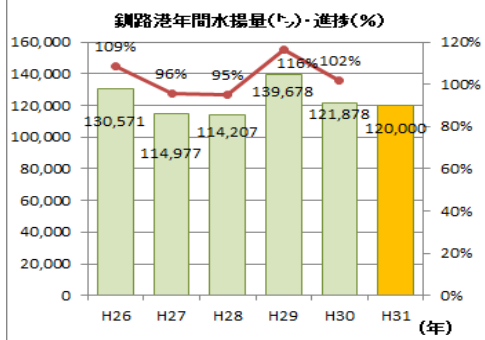
基本目標1
地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

- ① 釧路らしさを生み出す農林水産業の成長産業化
- ② 釧路の「食」の高付加価値化と販路拡大
- ③ 釧路の自然文化を活かした世界一級の観光地域づくり
- ④ 中小企業・小規模事業者の競争力の強化
- ⑤ 地域特性を活かした企業誘致
- ⑥ 地域に根差した石炭産業の振興
- ⑦ 地域を支える人材の育成

【基本目標 1】 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

① 釧路らしさを生み出す農林水産業の成長産業化

ア 持続的成長を目指した水産業の振興



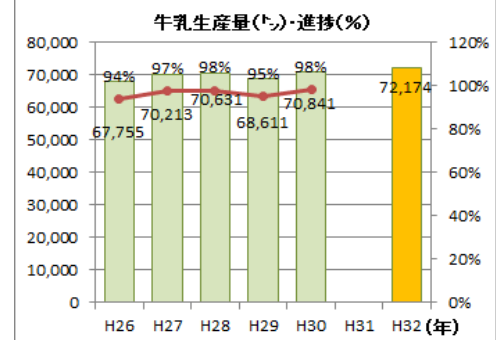
増要因

—

減要因

サバの水揚げ不振と、豊漁であったH29年と比較してマイワシの水揚げが減となったため。

イ 生産基盤の強化による農業の振興



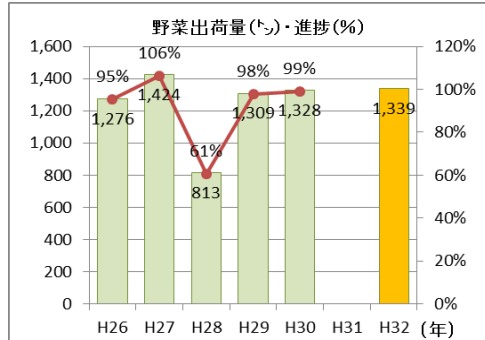
増要因

生産者による乳牛の増頭や改良、飼料の改善等生乳増産に向けた環境が整ってきたため。

減要因

—

イ 生産基盤の強化による農業の振興



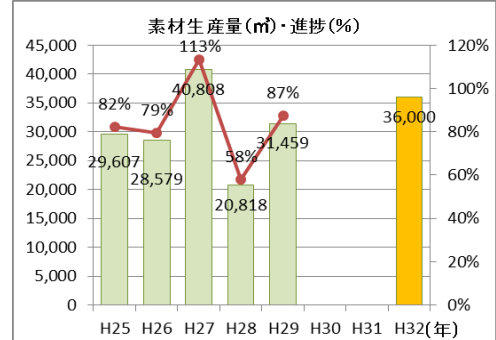
増要因

生産者による栽培管理の改善、気候の良化のため。

減要因

—

ウ 森林資源の循環利用を通じた林業の振興



増要因

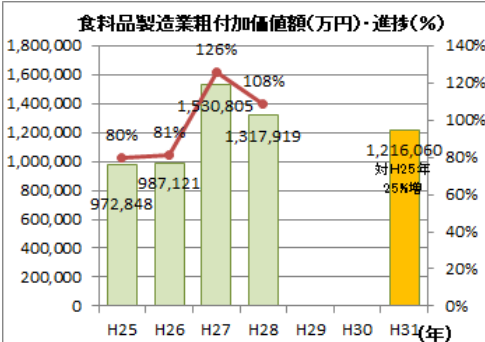
市有林における伐採量が増加したため。

減要因

—

② 釧路の「食」の高付加価値化と販路拡大

ア 高付加価値化による魅力ある製品づくり



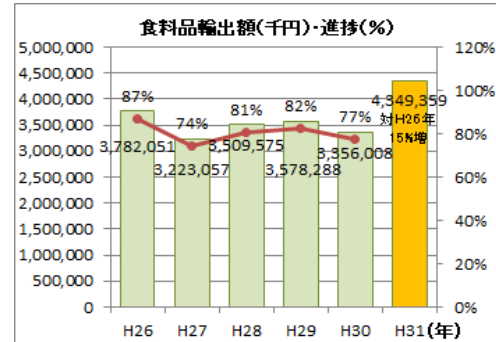
増要因

—

減要因

水産加工業を中心とし、生産額が減少した。

イ 地場製品の販路開拓・拡大



増要因

—

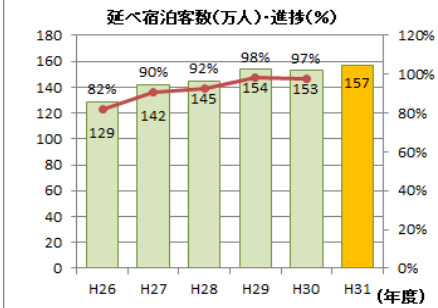
減要因

鮮魚、冷蔵魚及び冷凍魚に関して減少があったため。

【基本目標1】地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

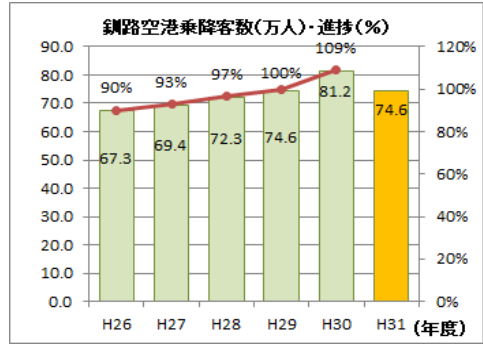
③ 釧路の自然文化を活かした世界一級の観光地域づくり

ア 「日本版DMO」の構築
 イ 釧路が誇る地域資源を活かした滞在型観光地域づくり
 ウ 釧路のブランド力や広域エリアの魅力を活かした旅行市場の活性化



増要因 —
減要因 北海道胆振東部地震での風評被害等により9月以降の入込客数に影響があり、また、釧路⇄東京線の機材大型化期間の縮小に伴い、国内宿泊客延数が減少。

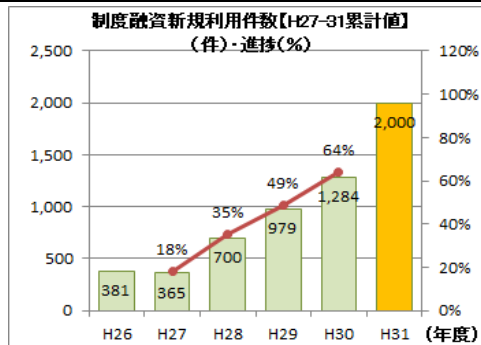
エ 国内外からの交流人口の受入拡大



増要因 H30.8月よりPeach釧路＝関西線就航に伴う乗降客数の増。
減要因 —

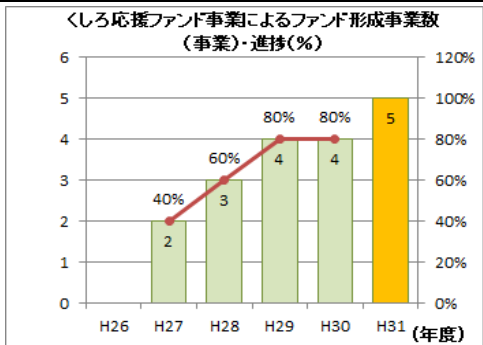
④ 中小企業・小規模事業者の競争力の強化

ア 地域経済を支える中小企業・小規模事業者の支援



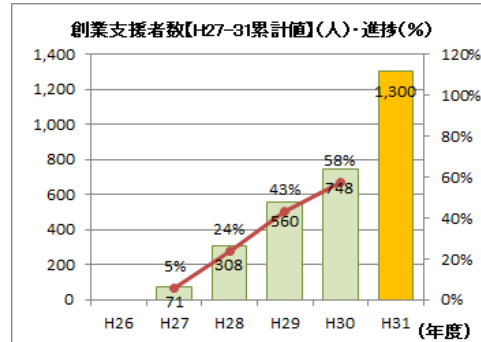
増要因 事業の拡大や新分野進出を用途とするがんばる企業応援資金の対前年度貸付件数が増えたため。比較的小規模の事業者への件数が増えていることから、本資金創設3年目にして広く様々な事業者等に認知されてきたものと考えられる。
減要因 —

ア 地域経済を支える中小企業・小規模事業者の支援



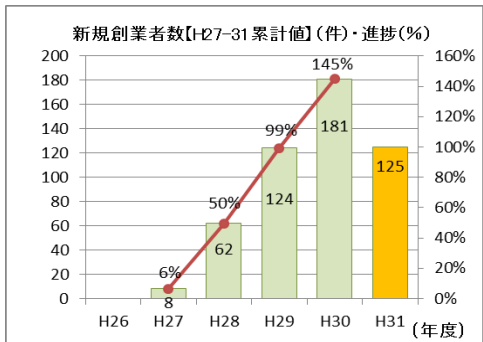
増要因 —
減要因 事業者説明会には数社が参加したが、ファンドの組成には至らなかった。

イ 創業・第二創業の支援



増要因 —
減要因 釧路市創業支援事業計画に基づき市が連携している認定連携創業支援事業者による対前年度実績が減少しているため。

イ 創業・第二創業の支援

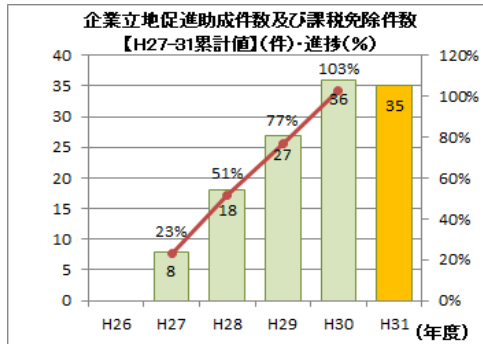


増要因 —
減要因 釧路市創業支援事業計画に基づき市が連携している認定連携創業支援事業者及び市による対前年度実績が減少しているものの、KPIの単年の目標値は達成している。

【基本目標 1】 地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

⑤地域特性を活かした企業誘致

ア 物流機能、ものづくり技術などを活かした企業誘致

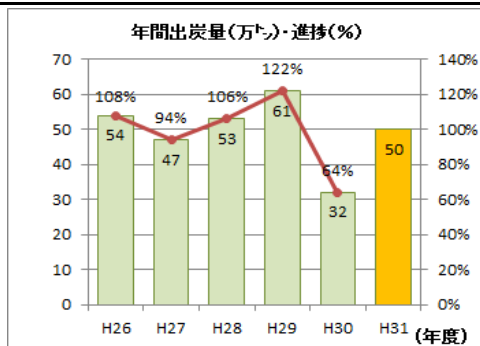


増要因 設備投資を行う企業が増加したため。

減要因 —

⑥地域に根ざした石炭産業の振興

ア 石炭エネルギーの活用

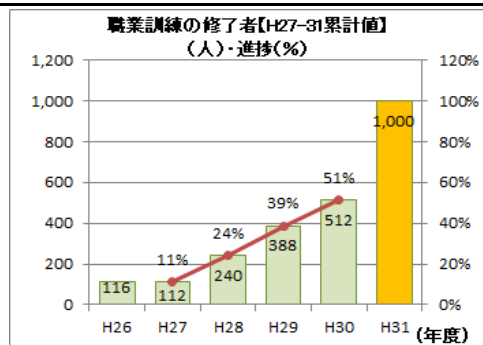


増要因 —

減要因 火力発電所の稼働に伴うエネルギーの地産地消を見据えた長期計画に基づき、出炭計画の変更を行った。

⑦地域を支える人材の確保

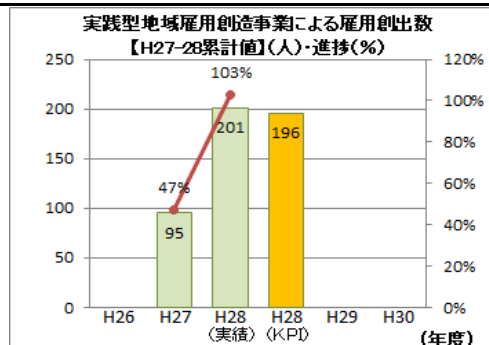
ア 地域産業を支える多様な人材の育成



増要因 —

減要因 対象であるポリテクセンター、北海道立釧路高等技術専門学院、釧路高等技術専門校の職業訓練修了者が3機関とも減少。特に北海道立釧路高等技術専門学院については、施設内訓練修了者数がH29(34名)からH30(16名)と半減している。

ア 地域産業を支える多様な人材の育成

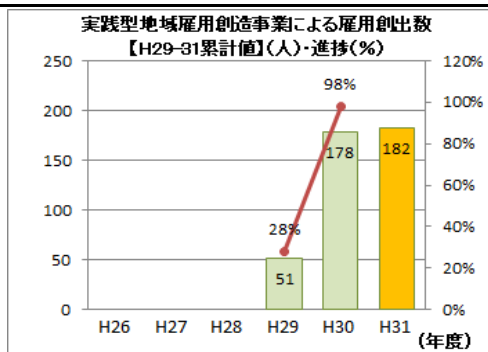


増要因 —

減要因 —

【基本目標1】地域経済のプラス成長と雇用の創出を図る

ア 地域産業を支える多様な人材の育成



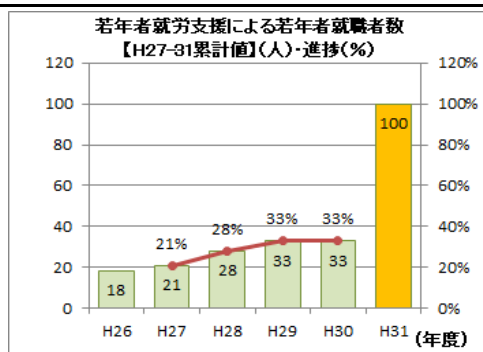
増要因

求職者のみならず、事業者や創業希望者の興味を引く内容のセミナーを開催することで、雇用創出の幅を広げるとともに、求職者に対してはハローワークくしろと連携して当事業の開催情報を届けたことと、事業者と求職者の雇用のマッチングを図る合同企業説明会を休日開催としたことで、雇用者数の増加に繋がったと考えられる。

減要因

—

イ 地域の未来を担う子ども・若者の人材育成



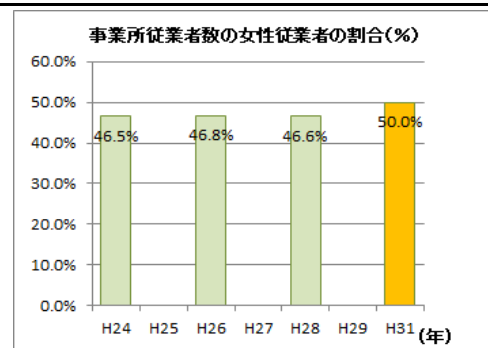
増要因

—

減要因

若年者雇用に関する情勢の好転に伴い、新卒未就職者が大幅に減少したことや、他の支援機関との連携強化により若年者就労支援の取組が進められていることからH29で事業終了。なお、若者就労に係る支援機関である若者サポートステーションでは、23名就職（KPI実績外）となっている。

ウ 女性の活躍促進



増要因

—

減要因

—